

ミドルリーダーの育成を目指した効果的な研修の在り方に関する研究

企画開発室 山岡 健二 兵頭 俊二 上岡 公紀
石崎 有一 山下 太志

研究協力者 愛媛大学大学院教育学研究科教授

露口 健司

1 研究の目的

教員の大量退職・大量採用の影響によって生じた年齢構成や経験年数の不均衡に伴う教員を巡る環境の変化や、社会の急激な変化に対応できる教育を推進するため、教員の資質向上に係る新たな体制を構築する趣旨で、平成28年11月に教育公務員特例法の一部を改正する法律が定められた。ここでは、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」（以下、「指標」とする。）の策定と十年経験者研修の中堅教諭等資質向上研修への見直しが義務付けられた。愛媛県でも、平成29年度に指標を定め、中堅教諭等資質向上研修として、キャリアアップ研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを位置付けた。

本研究では、学校運営の中核を担うミドルリーダーの育成を目指して、中堅教諭を対象としたキャリアアップ研修や専門研修において、本県指標に対応した体系的、効果的な研修計画を作成し、実施することを目的とする。

2 研究の内容

(1) 管理職及び中堅教諭に対するミドルリーダー育成に関する調査

本センターでの研修を受講した管理職と中堅教諭を対象にアンケートを実施し、本県指標に示す18のキーワードに関する意識調査を行った。管理職、中堅教諭ともに、「えひめ人材育成力」「地域と連携・協働する力」を課題として捉えていることや、管理職は本センターでの研修において「組織貢献力」の育成を求めていることが分かった。

(2) 本県指標に示す資質・能力の具体化

上記の調査等も踏まえ、本県指標の観点の内、「組織力」「信頼構築力」がミドルリーダーを育成する上で重要であると捉えた。この二つの観点を構成する「組織貢献力」等の五つのキーワードについて、「資質・能力充実期」と「資質・能力発展期」において求められる具体的な姿等をまとめた。また、研修等で活用するため、チェック表も作成し、「指標確認シート」として取りまとめた。

(3) 研修計画の作成

ア 全体の研修計画の作成

基礎研修であるキャリアアップ研修Ⅱ、Ⅲでは、ミドルリーダーとして求められる「組織力」「信頼構築力」の基礎を身に付け、四つの専門研修では、それぞれの担当する校務等に応じて、発展的な研修となるよう体系的な全体計画を作成した。

イ 各研修の研修計画の作成

各研修において、「指標確認シート」を活用して、研修受講者のキャリアステージやそれぞれの研修で育成する資質・能力に応じて、効果的な研修が実施できるよう研修計画を作成した。

本年度、キャリアアップ研修Ⅱでは、「協働性・同僚性」「対人関係力」を養う研修として、初任者研修受講者との合同研修を実施した。コーチングの手法を生かし、学校での人材育成につながる研修が実施できた。

3 研究のまとめ

ミドルリーダー育成を目指し、「組織力」「信頼構築力」について資質・能力の具体化を図り、体系的・効果的な研修が実施できるよう研修計画を作成した。今後は、研修計画に基づき研修を実施し、その研修効果について調査・検証し、研修内容の改善を図るとともに、校内研修等で活用できる資料を作成していきたい。